

中日本ネットワーク

東海・信越・北陸

JAPAN METAL BULLETIN
Local Network

新潟県経営品質協議会はこのほど、新潟市中央区の迎賓館TOKIWAで2020年度日本経営品質賞受賞報告会を開催した。新潟県の企業としては初めて日本経営品質賞を受賞した日鉄工材(本社=新潟県上越市、宮原光雄社長)が受賞の報告を行った。

第1部は、宮原社長が「社員の幸せを起点に、高生産性を実現し、お客さまに貢献する会社づくり」について講演。社員をポジティブにするマネジメントや働き方改革について説明した。同社は、「ハッピー休暇」や「幸せ円グラフ」など、より良い会社を目指すための同社独自の取り組みを行っている。また、お客さまのニーズに自社の強み

20年度日本経営品質賞

日鉄工材、新潟企業で初受賞



花束を贈呈される宮原社長(右)

加し、経営品質の取り組みで会社がどのように変わったかについて社員の立場で体験を説明した。

日鉄工材は日本製鉄のグループ企業で、電解銅箔メーカー向けのチタン製電

技術を組み合わせて対応する「ベストマッチ製品開発」により顧客満足度を高めている。

第2部では、総合教育研究所(東京都港区)の石橋正利氏をコーディネーターに、対話セッションが行われた。日鉄工材の高津孝・管理部長と相澤賢昭・総務部次長が参

働き方改革など講演

着ドラムや冷間圧延ステンレスフラットバール、配管パイプ、圧力容器などを製造している。特に電着ドラム製造では、トップスキンの継目溶接部と母材を近似化させる特殊処理技術を誇る。この技術が高く評価され、同社の電着ドラムは国内シェア100%で、世界でもトップだ。